



# 「こんな社会を創ろうよ！」 が湧き上がる運動を！

ひしやまなほこ  
菱山南帆子

(許すな！憲法改悪市民連絡会事務局次長)



先日、東京の新宿駅西口でいつものように、カラフルな幟に横断幕、時折、歌や三線、ウクレレなどの演奏、街中紙芝居などを交えた街宣と署名活動を行っていた。

偶然か計画的か不明だが、黒い街宣車を連れ、軍歌を流しながらヘイトスピーチをがなりたてていた右翼とブッキングしてしまうハプニングがあった。

私たちの街宣が醸し出す明るいオーラに圧倒されて焦ったのか、「憲法改正」「国防の強化」などと書かれた幟を持ちながら乱入しはじめ、どさくさに紛れ警官も入り、現場は一時騒然となった。

しかし、私たちはひるむことはなかった。しなやかにしたたかに、オジサン達の乱入を逆手にとって、三線の伴奏で「ハイサイおじさん」を歌い踊った。

振り上げたこぶしを振り下ろしようもなく、苦々しげに右翼は退散していった。私たちはこの後も区会議員、国会議員の発言など街宣をやり抜いた。

注目すべきことは、右翼との対決があったこの日、いつも以上に署名が集まり、対話が繰り広げられたという事実だ。

それは、「9条改憲反対」の幟と「自主憲法制定」「国防力強化」の幟が入り乱れる中で、「私たちの未来と向こうの未来どっちがいいですか？」と呼びかけながら、右翼の紺色の戦闘服姿の中に「改憲の先に戦争がある」という真実をリアルに伝えられたからではないか。威圧的で画一的な右翼と自由で多様な私たちの対比が感覚的に訴える力を発揮したのだ。

このエピソードから考えたことは、安倍政権が最悪なのでどうしても批判に終始してしまい、「それではどうしようか」が十分に伝えられていないという反省である。

街頭や戸別訪問での対話では「今の政治が悪いのはわかる。でもどうすればいいかわからない」「デモや投票で何か変わるの？意味あるの？」という声が多く。

戦争反対をいうならどのように平和を作るかを言わなければならない、増税・格差・年金を語るならどのように税金

を集めどどのように使うかを提案しなければならない。「このようにやっていこう」という具体性

をもった対話を草の根から巻き起こす必要がある。

今から100年以上前の自由民権運動は、あの五日市憲法草案を始め、把握している範囲でも五十から六十もの憲法草案を生み出すほどの「こんな社会を創ろうよ！」という情熱的な草の根運動だった。

その広がりをおそれた支配者は「集会条例」「保安条例」などによって徹底的に弾圧した。

ここから生活と政治が分断され、政治には関わらない方がいいという政治風土が作られるようになってきた。私たちはこんな風土を根底から覆さなければならないし、それは必ずできる。

韓国のキャンドル革命、香港市民200万人の決起、沖縄市民の「不屈の民意」。今、間違いなく地殻変動は始まっている。

安倍政権を支える「ほかよりマシ」「どうしたらいいかわからない」という閉塞感は必ず「火を得て」燃えあがる。

「こんな社会にしようよ」が無数に湧き出でて繋がり合えば必ず地殻変動が始まる。私たち全世界の市民は今こそしっかりと手を取り合おう。

それこそが市民運動だ。

## プロフィール

1989年東京八王子市生まれ。小学5年生の時、担任教師の障がい者差別発言に怒り、仲間を誘って授業をボイコット。その後、アフガン攻撃やイラク戦争などがきっかけで13歳から市民運動を開始。著書：「嵐を呼ぶ少女とよばれて～市民運動という生き方～」（はるか書房）



# 神戸 YWCA 創立 100 周年記念募金

“ 地域の中で、地域の人と共に生きる  
女性が主体的に活動することを目指して ”

2020 年に創立 100 周年を迎えるにあたり、募金活動がスタートしました。目標額は 1,000 万円です。

会員・会友・賛助員の方にはすでに趣意書をお送りしましたところ、さっそく寄付のお申し込みをいただきました。感謝申し上げます。目標達成のために、一人ひとりの方がさらに広く、外部の方へも支援を呼びかけて頂けたら幸いです。

100 周年を契機として神戸 YWCA

に新しい活動の場が開かれることに期待し、共に力を合わせて、大切な活動を次世代へ確実に引き継ぎましょう。

募金活動は、2021 年 3 月まで取り組みます。目に見える改善・改革を実行し、順次みなさまにご報告してまいりますので、ご理解とご協力を心よりお願いいたします。

(100 周年記念募金委員  
大工原則子、三浦啓子)

## 第 1 回 神戸 YWCA100 年 思いをつなぐ会

神戸 YWCA が 2020 年に 100 周年を迎えるにあたり、今まで活動を続けてこられたシニアの会員の方々に体験を語って頂く「思いをつなぐ会」を開催いたします。

第 1 回は渡邊順子さんと佐伯かをるさんです。どうぞ皆さまご参加ください。

日 時：10 月 12 日 (土)  
14:00 ~ 15:30

場 所：神戸 YWCA 会館 5 階  
お 話：わたしと YWCA  
参加費：300 円

## 神戸 YWCA ビジョンミーティング

100 周年を機に、神戸 YWCA の活動はどうあるべきか、どの方向に

### 声 でチャレンジ

私の参加している「神戸 YWCA 声の奉仕」は、視覚障害者のための朗読ボランティアで、日本赤十字社の兵庫県声の図書赤十字奉仕団に所属しています。

7グループ共同で毎月、声の情報誌を作成し、CD (およそ 6 時間) をリスナーに届けていますが、その一部を担当しています。

私のやりたいことの一つに朗読ボランティアがあり、「声」という加齢を感じない数少ない武器? で挑んでみよう、軽い気持ちで入会してから 2 年余りがたちました。歴史を知り録音図書ができるまでの大変さに驚き、皆で切磋琢磨してより良いものを目指している前向きな姿に圧倒されています。私も参加する以上、朗読の上達のための勉強会や地味な校正作業、苦手なパソコン編集作業の修得など頑張っています。ときには、企画取材と称してメンバーと出かけたりして、楽しむことも忘れずに。

(坂本 雅子)

進んでいけばいいのか、100 周年後の中長期ビジョンについて、理事会、運営委員会、プロジェクト Y では、学び、話し合ってきました。そして、少しずつその学びや話し合いが具体的になりつつあります。2019 年は 8 月 31 日 (土) に、理事会、運営委員会、プロジェクト Y が一堂に集まり、ビジョンミーティングを持ち、100 周年に向けて神戸 YWCA のビジョンづくりを行っていきます。

(運営委員会)

## 4 市 YWCA Local Action (地域 YWCA を中心とした活動)

4 市 YWCA (神戸・大阪・京都・名古屋) は、日本 YWCA 連携事業

「地域 YWCA を主体とした活動 (LA) 第 II 期」に取り組んでいます。今年度はその第 2 弾! ①運営委員の研修システムづくり②若い女性のスペースとリーダーシップ養成に関するビジョンづくりの 2 チームに分かれて討議しています。(運営委員会)

## キックオフ・ミーティング

6 月 18 日 (土)、神戸 YWCA チャペルにて「キックオフ・ミーティング」を開催し、17 人が参加した。YWCA に集う各部・プロジェクト・グループがお互いの活動を知りあうため、参加メンバーが 2019 年度の活動やアピールを発表し交流した。また、創立 100 周年を迎えるにあたって始動しているプロジェクト Y や記念事



## めいぼるん通信

ゆうなです。日本に帰国しました。私がメルボルンで過ごした時間はすごく濃く、良い経験ができたと思います。ディーキン大学では異文化コミュニケーション、マーケティング、中国語を学びました。異文化コミュニケーションを学んだことにより、文化の違いによっておきるカルチャーショックや意見のずれの違いについてより深く考えることができるようになりました。また、自分の意志や意見がどれほど大事なのか気づかされました。

そして、メルボルンの人は男性女性関係なく育児に携わり、家族との時間を大切にするので、日本人もそうなるように願っています。私もそんな影響を与えられる人になりたいと思います。

(古田 結菜)



業の動き、活動をすすめる運営ルー  
ルなどを共有した。第2部では三浦  
哲郎さんの「ドイツワインとお話」  
で懇親を深めた。(岩切 幸子)

## 7 世代に思いをはせて

平和活動部ゲスト学習会では6月  
29日(土)に、小橋かおるさんをお  
招きし、「7世代に思いをはせて～放  
射能汚染から子供たちを守るために  
～」のテーマでお話をしていただき  
ました。

小橋さんは、子どもの頃から核実  
験に疑問をもたれ、イラクでの劣化  
ウラン、そして福島第一原発事故後  
の「土壌汚染」の危険性に思い至り  
ました。汚染土には長期の内部被曝  
をもたらす放射性物質「セシウムポ  
ール」が含まれるということです。現  
行法制度では、なし崩しに公共事業  
に再利用される恐れがあり、国や自  
治体へ一刻も早く放射性物質によ  
る環境汚染を防止するための法整備  
を働きかける必要性を示唆されまし  
た。意見交換は、和やかな中にも真  
剣な語り合いの場となりました(参  
加者34人)。(東根 順子)

## 「憲法出前プログラム」

私たちは2012年4月に発表され  
た自民党憲法改正草案に「おかしい」  
と感じ、憲法出前プログラムを企画  
しました。私たちから出向いて若い  
人たちに呼びかけたいと、翌年6月  
の兵庫県立大を皮切りにこの6年間  
で28か所(中学校、高校、大学、  
教会、YWCAなど420人余)、毎  
年途切れることなく憲法出前を続け  
てきました。

今年度はまず7月16日と18日  
に神戸学院大学法学部で出前を行  
いました。詳細は平和活動部「ピース  
レターNo.4」でご報告します。

(平和活動部・鶴崎 祥子)

## あの不思議な光景を見届けよう

VOL.9

前回、神戸YWCAの全ての事  
業や活動を横断し再統合する総合  
サポートセンター構想(案)につ  
いてご報告した。この中で浮上し  
てきたのが「居住支援」という取  
り組みである。

「居住支援」とは、住宅確保要  
配慮者(高齢者、障がい者、外国  
人など、住宅確保に困難のある人)  
が民間賃貸住宅などへ円滑に入居  
できるよう支援するというもので、  
国土交通省の新たな住宅セーフ  
ティネット制度に基づく仕組み  
である。居住支援法人は、入居前  
の相談や不動産店への同行、入居  
中の見守り、死後事務委任などの  
法的支援も行っていく。

え?新しい事業が増えるの?と  
思われるかもしれないが、実は、  
まごの手も分室活動も、生活者と  
して日本で生きる外国人への日本

語教育事業も、働く親とその子  
もたちを支援する小規模保育園  
も、広義に言えば、居住支援つま  
り「誰もが安心して暮らせる社会  
とは何か」という模索の中から生  
まれ、取り組んできたものだ。そ  
のきっかけのひとつは、阪神淡路  
大震災で被災し当事者となった経  
験であることは言うまでもない。

居住支援とは単に人と家をつな  
ぐ活動に留まらず、居住と福祉、  
居住と人権というテーマとがっ  
り組むものであり、全事業をもう  
一度深め、互いにつないでいく働  
きになるのではないかと思ってい  
る。神戸YWCAは、2019年5  
月に居住支援法人を取得し、現活  
動の中でいかに具体化するか議論  
を重ねている。神戸YWCAらし  
い活動を生み出していきたい。

(総幹事・西本 玲子)

## カフェもぐもぐ「認知症 サポーター養成講座」

若年性認知症の人と仲間たち  
の集い「カフェもぐもぐ」で  
は、住み慣れた地域で自分らしく  
安心して暮らせるための啓発活  
動として「神戸市認知症サポ  
ーター養成講座」を開催している。

今年も6月29日(土)、キャ  
ラバンメイトの沖本雅子さんを講師  
に開催、貴重な学びの時となった。

参加者は仕事のスキルアップ、家  
族の介護、就職など、参加動機も多  
岐にわたり、10代~70代までの  
40人。講座終了後は講師を囲んで茶  
話会が持たれた。

(宮田 泰子)

はっぴー  
あるばむ



毎年恒例、流しそうめん。食べるのも  
流すのも大盛り上がり!

健康保持に散  
歩される方は多  
い。田舎の朝は早  
く、野菜の収穫に出ていると、  
「いつもこの道を通るのが楽し  
みです。次々きれいな花が咲  
くので」と、挨拶をして歩い  
て行かれる人に会う。梅雨期  
の菜園は、夏野菜が光り、ダ  
リア、グラジオラス、カンナ、  
千日紅などの花々が咲き競う。  
亡夫は「自然はみんなのもの  
(自然総有論)」と言って、  
環境問題をライフ・ワークに  
していた。定年退職後、耕作  
放棄地になりそうな畑を耕し、  
野菜と花づくりに精を出して  
晴耕雨読を楽しんでいた。生  
存中は全く傍観者でいた私が、  
召天後、元の草むらに戻るのが  
忍びず、草を刈り、土を耕  
す手助けを得て、菜園を守つ  
ている。種を蒔き、苗を植え、  
収穫物を隣人と分かち合う。  
土に生かされて生きる喜びを  
覚えている。

今や参院選の真只中、「年金・  
増税・憲法が争点」と報じら  
れている。当然のこととは思  
うが、安全な食の供給や、悪  
化の一途をたどる環境問題も  
論戦して欲しいと切に願う。

(松本よを)

● ちゃいやらんど 分室

ママと子どもたち（0歳～幼稚園前）のグループ。  
「定例会」8月7日（水）、21日（水）、9月4日（水）、  
18日（水）11～15時  
参加費 300円（1回）

● 地域のお店くるくる 分室（リサイクルファッション）

9月19日（木）13時30分～15時＊8月は休み

● カフェもぐもぐ 分室

若年性認知症の人と仲間たちのカフェ。  
9月7日（土）10時30分～15時  
参加費 300円（食事代400円）  
＊昼食はみんなで作って食べます（要予約）。

● 木曜カフェ 分室

毎週木曜日 14時～16時 ＊8/15（木）は休み  
マルシェとカフェでほっこりしに来てください！  
第4木曜日は音楽セッションもしています♪

● 夜回り準備会ボランティア募集 分室

毎月第2・4土曜日の18～21時頃  
灘区、東灘区で路上生活をしている方々を訪問し  
ます。一緒に活動して下さるメンバーを急募。  
運転できる方、特に大歓迎です。  
電話（078-221-5111）・メール（yomawari@kobe.  
ywca.or.jp）でお問い合わせください。

ポーポキ、  
おうちに帰れないって、どういこと？

～世界・FUKUSHIMA・私たちの生活から避難の権利を問う～

日時：9月28日（土）14時～16時30分

場所：神戸YWCA 三宮会館

特別ゲスト：加藤 裕子さん

（福島第一原子力発電所事故被災者、原発賠償関西訴訟原告）

共催：ポーポキ・ピース・プロジェクト、神戸YWCA 国際・  
奉仕センター、神戸YWCA 被災者支援プロジェクト



クレジットカードで  
かんたん決済

神戸YWCAのホームページで、  
クレジットカード決済ができる  
ようになりました。株式会社口  
ポットペイメントの決済代行シ  
ステムを利用しており、セキュ  
リティは万全です。

寄付、賛助費

会費・会友費

にご利用いただけます。

右のQRコードを  
読み取り、アクセ  
スしてください。



夏季休館日

8月10日（土）～16日（金）

＊まごの手・保育園を除く

● 理事会報告

6月15日（土）第1回理  
事会開催。出席理事7人、監  
事2人。理事会の決議により、  
代表理事・平山芳子、常務理  
事・西本玲子、業務執行理事・  
寺内真子が選定された。7月  
6日（土）第2回理事会開催。  
財政報告の後、居住支援法人  
としての事業の具体化、夏の  
ビジョンミーティングについ  
て協議した。

前号機関紙の理事会報告「第  
7回理事会開催日」に誤りが  
ありました。以下の通り訂正  
します。

誤：6月23日（木）

正：5月23日（木）

（総幹事・西本 玲子）

● 賛助員

井上 早苗 釜田 睦子  
小室 こゆみ 篠原 悦子  
柴田 正生 平木 貴美子  
（敬称略）

● 編集後記

参院選が終わり、新しい政  
治がスタート。「こんな社会を  
創ろうよ！」（一面記事）の菱  
山さんには背中を押される。  
（S・I）

● 学院だより

レギュラーコースで2年間  
日本語の勉強を続けた方の修  
了式。修了生は手づくり絵本  
「カニちゃん日本にいく」で、  
「国でも日本でもどこにいても  
イエスさまが共におられる」  
と話されました。宣教師とし  
ての新しい1ページも力強く  
歩いていけるよう応援してい  
ます。

夏は「勉強に役立つ日本語ク  
ラス」の中高生や、日本語教師  
を目指す大学生など、若いパ  
ワーがあふれます。どんな出会  
いがあるか楽しみです。

寄付など多くのご支援に感謝  
いたします。これからもよろし  
くお願いいたします！

（原田 雅子）

● 保育園だより

保育園児および卒園児の家  
族、Yの会員、職員が集まって  
夕飯を食べながら、「先輩に聞  
く会」を開きました。「1日でも  
夕飯のことを考えなくていい  
日があるのは嬉しい」という働  
くお母さんの正直な声。大人た  
ちがリラックスして、自由に会  
話する場となりました。

神戸YWCA



日時：11月4日（月・祝）11:00～14:30

場所：神戸YWCA 本館

今年も神戸聖愛教会と同日開催！

食後には「先輩お母さんは  
英語」、「保育士は日本語」で、  
絵本の読み聞かせをし、みん  
なで楽しみました。

保育園とYWCA。こんな繋  
がりもいいですね。

（園長・梅川 玲子）

部報告他

【議事】▼日本Y次期総会期に  
向けてビジョンなどの意見集約  
▼CSW オブザーバー派遣▼世  
界Y総会派遣▼LA IIの宿題▼  
夏のビジョンミーティング

（書記・岩切 幸子）

● 運営委員会報告

（6月）

【報告】▼日本YWCA 関連（中  
央委員会・会長会報告）▼LA  
II（会員スキルアップ、ユース  
活動）▼世界Yデイ▼各部報告  
【議事】▼各部・プロジェクト  
メンバー承認▼キックオフ・  
ミーティング最終確認▼部会・  
委員会・プロジェクト・グル  
ープ活動のすすめ方▼夏のビ  
ジョンミーティング

（7月）

【報告】▼評議員会・理事会▼  
日本YWCA 関連▼LA II ▼  
100周年記念実行委員会▼各

● 評議員会報告

6月15日（土）定時評議  
員会開催。出席評議員数8人。  
2018年度事業報告がなされ、  
2018年度決算を承認。2019  
年度事業計画と予算を報告し  
た。また理事および監事の選  
任がなされた。選任された者  
は以下のとおり。

【理事】

大工原則子、寺内真子、  
西本玲子、野村春美、平山芳子、  
三浦啓子、宮田泰子、  
モーア・アン・チョウ

【監事】

川関敏恵、川辺比呂子

ホームヘルパー募集

誰もが地域の中で自分らしい暮らしをおくるために、  
担い手となって働きませんか。

◆ホームヘルパー

常勤 月給 198,100円～  
パート 時給 1,100～1,200円  
登録型 時給 1,000～1,400円

＊担当・寺内までお問い合わせください。

◆生活支援訪問  
サービス従業者 900円/回

神戸YWCA  
まごの手

☎078-231-3156



シャマイム

担当者 佐野 睦（日本基督教団 甲東教会会員）



0120-41-1059 (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます

西宮市段上町 2丁目 13-2

URL: <http://sanosousai.com>